

11月

51昭和  
年和  
1976

横浜市関係

- 1 日本鋼管、横浜・川崎两市と県の三者が申し入れていた扇島製鉄所の公害防止対策について「全面実施」を回答
- 3 大通り公園石の広場計画地区で、市民と大通り公園を結び、野外彫刻展。▽馬車道商店街で「馬車道まつり」開催
- 4 市教育委、五十一年度第二次プール設置計画で本牧南小など五校分追加
- 6 金沢公会堂で区社会福祉大会開催
- 8 市長、米軍鶴見貯油施設立ち入り点検についての、在日米軍司令官W・T・ガリガン中将あての書簡内容を公表
- 10\* 市政オビニオンの施設への「図書一冊」寄贈運動が約二千冊に達した
- 11 平和球場改造のための発起人会で、新球場名「横浜スタジアム」などを決定
- 12 日本鋼管扇島第一高炉に火入れ式
- 13 神奈川県建設会館で平和球場の改築をめぐって中区の「区民のつどい」開催
- 16 市従民生支部、保育内容の充実と保育の増員問題で市庁舎座り込み
- 18 市民ギャラリーで、アラブ一三カ国が出品の「アラブ文化展」開催
- 22 横浜市幼児問題協議会、「地域における幼児の教育と福祉改善のための方策」を市長へ報告
- 26 横浜スタジアムの建設促進を担当するプロジェクトチーム新設などに伴い二

自治体・国・社会

- 1 自治省、汚職事件の実態調査で、五十年四月〜五十一年七月の全国の自治体のうち一三六団体が関係、九六人が懲戒免
- 2 厚木基地で米海軍双発小型輸送機墜落、乗員六人死亡。▽米大統領選でカーター候補当選。
- 4 第七八回臨時国会、国鉄運賃値上げ法案などを成立し閉会。
- 5 関東地方知事会が神奈川県庁で開かれ大地震時の相互協力体制づくりを急ぐなど合意。▽総理府「婦人に関する世論調査」、女性の二人に一人は「男は仕事、女は家庭」に同感でない。
- 6 川崎市、天皇在位五〇年式典当日の「半ドン」返上。
- 8 政府、五十一年十二月施行の振動規制法に基づく規制基準まとめる。
- 10 日本武道館で天皇在位五〇年式典。
- 15 第三四回衆議院議員総選挙公示。
- 16 経済協力開発機構、東京で日本の環境政策についての分析、検討会開催。▽厚生省の公衆浴場確保対策検討委員会、ふろ代自由料金制提言。
- 17 最高裁、ニセ電話事件で鬼頭判事補訴追決定。
- 18 厚生省人口問題研究所「日本の将来人口新推計」で昭和七十五年に、六五歳以上の老人が

12月

51昭和  
年和  
1976

横浜市関係

- 1 四等級五六人の人事異動。▽消防局、市火災予防条例付則の改正で、一年以内のうちに「石油・ガストーブの自動消火」転換が必要となり市民へ呼びかける
- 26\* 港湾局、五十一年度中に沈船四〇隻を処分の方針
- 27\* 市内米軍施設、硫酸酸化物の排出量を五十二年度から削減の回答
- 29 市福祉モニター老人問題などで提言
- 30 本牧沖でパナマ貨物船どうしが衝突
- 2 日米合同委員会、市が要求していた米軍鶴見貯油施設への立入検査について共同検査で合意成立。市長、記者会見で「国内法適用の道が開かれた」と表明
- 4\* 都市開発局、吉田橋周辺の整備計画（仮称・吉田橋スクエア）計画を発表
- 6 分区後ではじめての衆議院議員選挙、一、四区とも新自由クラブが首位当選
- 8 十三日からの市会を前に、総額一五億六、六二七万円の補正予算案を発表
- 10 経済局、大型店進出をめぐる地元商店街の紛争の深刻化に伴い、「大型店進出指導要綱」制定の趣旨、骨子を公表
- 11 市特別職報酬等審議会、三年ぶりに市長、議員などの報酬引上げを答申。市長は、県知事と同額の月額九〇万円。▽市会決算特別委、五十一年度公営企業関係決算七件を認定。▽運輸省に申請中の地

自治体・国・社会

- 現在の二倍。
- 22 産廃処理場を求めて約二ヵ月、全国の港を放浪した高共丸、東京湾へ入港し終止符。
- 25 事務次官会議、地方事務官二五六人増員し二万四〇〇二人の定員決める。
- 29 神奈川県下市町村の五十一年度決算によると、歳入歳出一〇％台の伸びで地方債、依存度高まる。
- 30 東京地裁、公害汚職で前川崎市公害監視センター所長村瀬暁被告に有罪判決。
- 2\* 川崎市、行政効率化の基礎データとして「川崎市地区カルテ」をまとめ内部検討。
- 3 岡山地検、四十九年の水島の重油タンクの流出事故で千代田化工など二人法人、六人起訴。
- 5 第三四回衆議院総選挙投票日。
- 7\* 衆議院選挙結果、自民過半数を割り、新自由クラブ一七人当選するなど新勢力分野決まる。▽政府、原子力白書、国民の理解と協力を求めて、を公表。
- 9 文部省、五十一年五月の学校基本調査で、大学進学者が二七年ぶりに〇・八％減少。
- 12 全国知事会、資本金五億円以上の製造業対象に、「外形標準課税」の試案作成。
- 13 東京地裁、「国は、保育所設置にかかった費用の半分を支払え」という摂津市

昭和52年  
1月  
1977

- 下鉄一号线、上永谷戸塚間(三・八キロ)が事業認可される
- 12 旭土木事務所で、宿直の非常勤業務員渋谷秋太郎氏が他殺体で発見される
- 13 市会十二月定例会開会、国民健康保険条例の一部改正案など七二件提出
- 14 市会第四委、横浜線の十日市場駅(仮称)の市費負担分七億五七八万円を可決。▽県警、日照汚職で疑惑の市議について刑事責任追及を断念
- 15 市会第二委、動物の保護管理条例(ペット条例)可決、犬の散歩も条件つき
- 16 市会第七委、船舶給水料金、平均四三・五%値上げを原案どおり可決
- 17 横浜地裁、南区の小川増蔵氏ほかから出されていた市職員の「ヤミ専従」問題で一応の努力を認め和解成立
- 18 市バスの三路線で土曜ダイヤ運行
- 23 京急の釜利谷地区開発に伴う「トンネル工事補償委員会」初会合
- 24 市会本会議、特別職の報酬上げなど五三件を可決成立
- 3 箱根駅伝応援から帰宅途中、第一京浜国道(大田区仲六郷)で児玉正昭総務局長が交通事故死
- 6 市長、年頭の記者会見で、五十二年を「横浜新時代」の始まりと位置づけ福祉優先の社会づくりを中心に政策提起を国民各階層のなかに広げていく。五十二年予算では、各区の自主事業を拡大し

の訴訟で、「児童福祉法の国庫負担規定は、抽象的な義務規定である」と訴えを棄却。▽全国革新市長会会長の飛鳥田横浜市長、「摂津訴訟」却下で「法理論もて遊ぶ」と批判。13 地方六団体、超過負担解消で具体案まとめる。▽環境庁、全国の窒素酸化物汚染は横ばいが増加傾向。14 岐阜県会、十一日に収賄容疑で書類送検されている平野三郎知事の信任案を全会一致で可決。15 熊本地裁、水俣病不作為訴訟で「認定の遅れは行政の怠慢」と原告全面勝訴。16 環境庁、自動車の排ガス五十三年度規制内容・実施時期など公表。17 石油輸出機構、五%と一〇%の二重値上げ発表。20 行政管理局、「下水道の行政監察」の改善勧告を関係省へ行う。21 宝くじ売場が混乱、全国で死者二、負傷者二三人。24 第七九臨時国会召集。三木首相辞任に伴う福田内閣発足。4 首相、景気対策に関連し一月中に五万戸の住宅金融資産を実施と表明。▽東京・品川区で電話ボックス内などの毒入りコピーラ事件で二人死亡。▽自治省、「市町村における地域政策の動向」で基軸はやはり「福祉」が中心。6 国土庁、「二一世紀の人と国土」という長期展望中

- たいなどと語る
- \*7 救急医療センター構想の大きすぎとまり、具体的内容などについて検討へ
- 11 市教委、五十二年四月に小学校へ入学する就学予定児童数調査結果、これまでの最高の四万九、五七七人と発表
- 12\* 五十二年度市営住宅空家入居者募集でこの六年間で最高の六倍、三、三〇〇人
- 14 市長、東京のホテルで横浜市選出の衆議院議員と県選出の参議院議員を招き、地方財源の確立などについて協力を要請。▽港の見える丘公園隣接地で「大佛次郎記念館」建設の地鎮祭。▽横浜・川崎両市と県の三者で実施した県臨海地区大気汚染調査によると窒素酸化物は横ばい、高速道路周辺が汚染進む
- 17 市民ギャラリーで「ラオス写真展」
- 19 市会決算特別委で都市開発局長、戸塚駅周辺整備事業を五十三年度に着工できると努力したいと答弁
- 20 市農地課税審議会、市街化区域内A・B農地の八〇%減額課税を市長へ答申
- 21 市会決算特別委で建築局長、木造など市営住宅を五十三年度から建替示唆
- 24 一月一日現在の市人口(推計)、二六六万八、六四二人
- 25 横浜税関、五十一年貿易統計による横浜港の輸出は史上最高の四兆円突破
- 27 五十一年消防白書、火災による死者は前年より減ったが出火件数は大幅増

間報告で、壮年社会」到来の対応策づくりを指す。8 全国知事会、全国の公立高校新增設調査で今後五年間に六七校必要。12 任期満了に伴う相模原市長選に、松本得三、たてもり静光の二氏が届出。13 二八兆五、四三億円の五十二年度一般会計予算および財投計画など大蔵原案発表。▽鎌倉市、古都保存法一〇周年の集い開催。15 自治省、地方公共団体金融公庫創設を縁故地方債消化を条件に断念。17 葉山町長に田中富氏が四選。18 全国革新市長会幹事会、五十二年度国家予算に対する要望、摂津訴訟支援、全国市長会議(仮称)など決める。20 政府五十二年度予算案、一般会計二兆八、五、一四三億円および財投など決定。▽カーター米大統領が就任。▽東京都知事、外務省へ英國の兵器売り込み船の入港拒否を回答。22 神奈川県庁で、新神奈川計画を審議する、総合開発審議会が開かれ、会長に都留重人、橋大名誉教授など決まる。24 相模原市長選で館盛静光氏当選。26 政府、領海二二カイリへ拡大の方針決定。27 神奈川県警、鎌倉市建設部みどり課の前公園係長ら二係長と三業者三人を贈収賄容疑で逮捕。31 第八〇通常国会再会、福田首相が施政方針で協調と連帯強調。

資料は「広報よこはま」によったほか、主として神奈川新聞を参考にした。\* 印は日付不確定のため新聞発行日。